

放課後等デイサービス評価表（職員回答分）

		チェック項目	A はい	Bどちらとも いえない	Cいいえ	ご意見
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		A：子どもたちが思い思いに過ごせるスペースが用意されている。 B：当施設の指導室は法令基準である、利用者1人につき2.47㎡をクリアしており、死角の無い指導員の目が行き届く空間が大部分を占めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		A：法令に準じた配置数に加え、保育士、精神保健福祉士、児童指導員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	1	B：完全なバリアフリー化は難しいが、スタッフが付き添い、支援を行うことで配慮している。 C：室内遊びでも追いかっこをするので、段差につまずかないよう、目立つようテープを貼る等、対策が必要と考える。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	1	A：PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを心がけ、活動前後で職員ミーティングを行っている。
	5	保護者向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4	1	A：今年（令和2年度）より実施。まとも次第HPで公開する予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	1	A：開示予定。 A：今年（令和2年度）より実施。まとも次第HPで公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	C：現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3		B：今年度はコロナ禍の影響で、オンライン研修が中心となったが、今後も、多様な障がい特性の知識、技術の向上を図るため、研修に参加し得た知識を社内で共有していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3		A：見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を作成している。必要に応じて利用者が療育センターや医療機関で行った検査結果をお持ちいただくことで発達状況を把握している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		A：見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を作成しています。必要に応じて利用者が療育センターや医療機関で行った検査結果をお持ちいただき発達状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3		A：ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を言い、個人個人の支援方法や活動の進め方等、共通の目標を持って取り組むようにしています。今後も活動内容が固定化しないよう、定期的にミーティング行い取り組んでいく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		A：季節の行事や子どもの興味を引くプログラムになるように工夫されている。 A：ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を言い、支援の仕方や活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことを目指しています。今後も活動内容が固定化しないよう定期的なミーティングや行事に取り組んでいく。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		A：祝日や長期休暇日には体験・創作活動を行っている。今後は屋外活動や社会科見学も実施する予定。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		A：個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2		A：毎日職員間で確認をしている。 A：活動の前後で職員ミーティングを行います。始まる前には利用者の様子やプログラムの流れ、支援方法を確認し合い、終わった後は支援の振り返りを行い、記録します。それらを次回のステップアップや改善につなげていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	1	A：活動の前後で職員ミーティングを行います。学校やキッズの先生からその日の様子を引継ぎ、利用者のコンディションを観察しながら、プログラムの流れ、支援方法を確認する。一日の活動が終わった後、支援の振り返りを行い、記録します。それらを次回のステップアップや改善につなげていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		A：活動の前後で職員ミーティングを行います。始まる前には利用者の様子やプログラムの流れ、支援方法を確認し合い、終わった後は支援の振り返りを行い、記録します。それらを次回のステップアップや改善につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		A：概ね6ヶ月に1度、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1		A：ガイドラインに沿って活動を提供している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3		A：管理者や児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		A：保護者を通して情報を得ている。学校主催の連携会議が開催される場合は参加している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5		A：現在は医療的ケアが必要な利用者はいないが、緊急時に備えて、主治医からの指導を書面にして頂き、体制を整えた事例はある。 B：対象者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		B：可能な限りの情報共有を行い、より相互理解ができるよう努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	2	B：まだ対象者なし。 B：学校を卒業した児童がまだいない。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	A：専門機関と連携を行い、日々の業務に繋げている。また、今後は研修にも積極的に参加していく。	

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	C：活動の機会は、作れていない。今後、活動の機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	A：管理者や児童発達支援管理責任者など、適切な職員が定期的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			A：連絡帳や送迎の際に、日頃の状況をお伝えできるよう心掛けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1	A：これまでペアレントトレーニングのプログラムは行っていないが、フィードバック時に対応方法などのアドバイスの機会を設けている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	3		A：契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に適切に応じ、必要な助言としえんを行っているか	4	2		A：送迎時に保護者との会話や、メール・連絡帳等で支援を行っている。 A：相談に対してその都度、支援を行っている。相談内容によっては、職員間で話し合い対応している。適切な家族支援が実施できるよう、研修にも参加していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	C：父母の会や保護者会は、現在実施していない。必要に応じて検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2	1	A：苦情があった場合、事実確認を徹底し、迅速かつ適切に対応するよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	2	A：翌月のプログラム予定表を毎月発行している。キッズグリーンの様子はInstagramやリタリコ発達ナビ等で発信しているが、今後は定期的にアップしていくことが課題である。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			A：個人情報の書類は鍵付きのロッカーで保管している。また、個人情報の同意書（SNSの利用）も頂いており、同意書の内容に沿って扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		A：大事な案件は、連絡帳やメールで情報の伝達を行っているが、内容によっては電話で迅速に対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4	C：コロナ禍であり、利用者及び関係者以外の交流は極力避ける必要があった為、地域住民のご招待には至っていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1	B：職員間で確認できる様に、事務所内に提示している。今後は保護者へ契約時などに周知し丁寧に説明していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		1	A：職員でミーティングをしたうえで、児童と避難訓練を実施した。今後も防災に関する外部研修に職員が参加し、定期的に避難訓練を実施する。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	3	2	A：オンライン研修に参加可能な職員が出席している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	2	3	A：現在、通所している児童で身体拘束の必要はないが、事前にスタッフ間でよく話し合い、身体拘束が必要な時はその経緯や拘束時間等の記録を取るなどした上で、保護者へ説明していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	1	A：初回のアセスメント時に聞き取り、記載している。医師の意見書は頂いていないので、今後は必要に応じて、保護者より、指示書及び意見書の提出をお願いすることも視野に入れて対応していく。 B：おやつ置き場にアレルギー情報を掲示し、おやつや飲み物を提供する時は、よく確認し提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		1	A：まだ事例はないが、作成する準備は整っている。 A：危険な事例があった場合、ヒヤリハットノートに記載し、職員で共有しています。
その他						